

◆増粘剤 グレード一覧

202008-1

形態	品名	性状				組成	特徴	用途例		
		固形分 % (粉末品は 乾燥減量%)	粘度 mPa・s/25°C (水溶液濃度、 温度：粉末品のみ)	pH (水溶液濃度)	分子量 Mw					
アロン	水溶液	A-20L	18±2	20,000~50,000(30°C)	8.5~9.5	50万	ポリアクリル酸ナトリウム	安定性良好、作業性良好	ラテックス増粘	
		A-7100	21±1	30,000~40,000	7.0~9.0	50万				
		A-10H	26±1.5	8,000~12,000	1.5~3.0	20万	ポリアクリル酸	安定性良好、作業性良好、 中和工程必要	酸性増粘	
		A-30	30±1.5	7,000~12,000	7~9	10万	ポリアクリル酸アンモニウム	耐水性良好	セラミックス増粘	
		A-7195	19±2	30,000~70,000(30°C)	7~9	50万	カルボン酸系共重合体 (ナトリウム塩)	低曳糸性、保水性	塗料増粘	
	エマルジョン	A-7075	20±1	5~45/25°C	2~4	-	カルボン酸系共重合体	高増粘性、高曳糸性、保水性	紙用コーティングカラー、 ラテックス増粘	
		A-7055	35±1	100以下	1.5~3.5	-		高流動性	紙用コーティングカラー、 ラテックス増粘	
		B-300K	44±1	20~100(30°C)	2~3	-		低曳糸性	紙用コーティングカラー、 ラテックス増粘	
		B-500	36±1	5~50	2~4	-		経時安定性、低曳糸性	ラテックス増粘	
	レोजック		260H	7%以下	7,000~13,000(0.5%)	8.0~9.0(0.5%)	-	架橋型ポリアクリル酸ナトリウム	透明性良好、曳糸性、粘着性全く無し	チキソ性増粘、ダレ防止
			845H	7%以下	7,000~14,000(0.5%)	7.0~8.0(0.5%)	-	架橋型アクリル系ポリマー	塩類の影響少	塩類の影響少
ジュンロン		PW-120	5%以下	8,000~20,000 (0.2%中和、25°C)	2.5~4.0(0.2%)	-	架橋型ポリアクリル酸	NaOH、アンモニアなどの 任意のアルカリ剤で中和可能 有機溶剤の増粘可能(可溶化剤使用)	化粧品、医薬品、農業、 合成ゴムラテックス、シャンプー、 歯磨き、ローションなど	



東亜合成株式会社

http://www.toagosei.co.jp/

ポリマー・オリゴマー事業部 ポリマー部

本店営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋1-14-1 TEL:03-3597-7337  
 大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3 TEL:06-6446-6564  
 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6 TEL:052-209-8593

ここに掲載されている内容は、細心の注意を払って行われた実験事実に基づくものでありますが、保証値ではありません。